

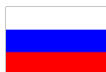
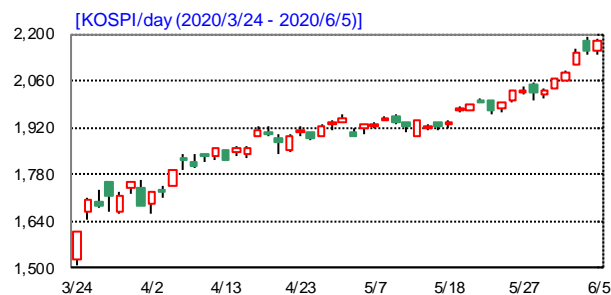


【韓国】 総合指数は週間で7.5%高と3週続伸、今週は買い先行も上値重い

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で7.5%高と大幅に3週続伸。5日まで連日上昇し、終値は2月20日以来3カ月半ぶりの高値を付けた。前週末にトランプ米大統領が発表した対中政策が想定したほど強硬ではなかったと受け止められ、週明け1日は続伸。新型コロナウイルス対策の制限措置が各国で緩和され、投資家のリスク選好が強まった。3日には韓国政府が大規模な補正予算案を決めており、市場では新たな刺激策が打ち出されて景気が回復するとの期待が広がった。欧州中央銀行（ECB）が4日に発表した追加の金融緩和も支援材料。5日は株価が一時急落したものの、機関投資家の買いが膨らんで持ち直した。今週は買いが先行も、上値は重い。節目の2200ポイントを上抜ければ高値警戒感が強まり、利益確定売りが出そう。

▼指数チャート

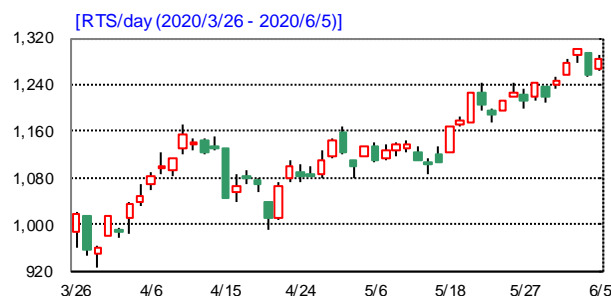


【ロシア】 RTS 指数は5.4%高と大幅に3週続伸、今週は原油相場にらんだ展開

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で5.4%高と大幅に3週続伸。経済指標の改善を好感し欧米株価が大幅に上昇する中、原油相場の続伸も追い風となった。週明け1日は海外株高や原油高を受け、指数は前営業日比2.3%高。その後も経済活動再開による景気回復期待や原油相場の続伸を背景に指数は3日まで3日続伸し、終値では3月5日以降で初めて1300ドルを回復した。4日は燃料流出事故の巨額対策費用が嫌気されたMMCノリリスクニッケルが急落し、指数も3.4%安と反落したが、5日は2.3%高と反発した。個別ではエアロフロート・ロシア航空、ズベルバンク・オブ・ロシア、タトネフチなどの景気敏感株が大幅高となった一方、資源のMMCノリリスクニッケルが7.7%下落した。今週は原油相場や欧米株価をにらんだ展開か。

▼指数チャート



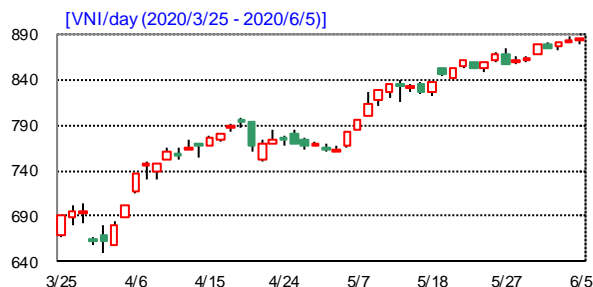
【ベトナム】 ベトナム指数は2.5%高と5週続伸、今週は米中関係などが相場に影響

響か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で2.5%高と5週続伸。経済指標の改善を好感した欧米株の上昇を受けてリスクオンが続いた。週明け1日はVN指数が前営業日比1.6%高と3日続伸。トランプ米大統領の発言を受けて米中対立への警戒感が後退する中、5月の中国財新製造業PMIが市場予想を上回り、リスクオンの流れが続いた。2日は小幅に反落したものの、経済指標の改善などを好感し、欧米株が上昇を続けたことでリスク選好が継続。VN指数は5日まで3日続伸し、886.22ポイントと3月6日以来の水準を回復した。個別では金融のベトインバンク、ベトナム投資開発銀行、ベトコムバンクが4.5-8.7%上昇したほか、エネルギーのペトロベトナム・ガスが3.5%高となり、指数を押し上げた。今週は米中関係や欧米株価をにらんだ展開か。

▼指数チャート

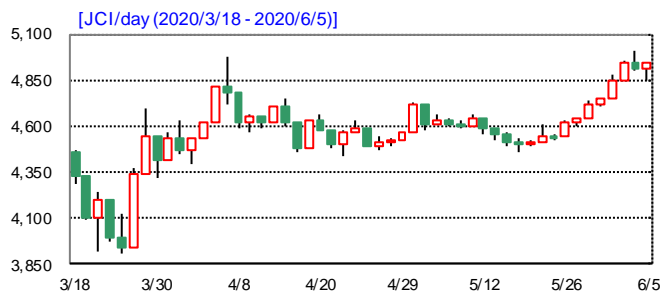


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 4.1%高、476 億米ドル規模の景気刺激策を好感

ジャカルタ総合指数は 4 日間の取引で 4.1%高と 3 週続伸。前週の勢いを引き継ぎ、堅調に推移した。連休明けの 2 日は、金融株が指数上昇をけん引し、前営業日比 2.0%高と 5 日続伸。3 日は政府が 476 億米ドル規模の景気刺激策を発表した効果で、さらに 1.9%高と上値を広げた。4 日には場中に一時、5000 ポイントを超えたが、その後にはドバイ原油価格の下落を受けてエネルギー株が売られ、終値ではこの水準を下回り、7 日ぶりに反落。一方、5 日はジャカルタで行動制限の緩和が始まった効果で買い戻されて取引を終えている。今週は 10 日に 4 月の小売売上高、12 日に消費者信頼感指数が発表される予定。

▼指数チャート

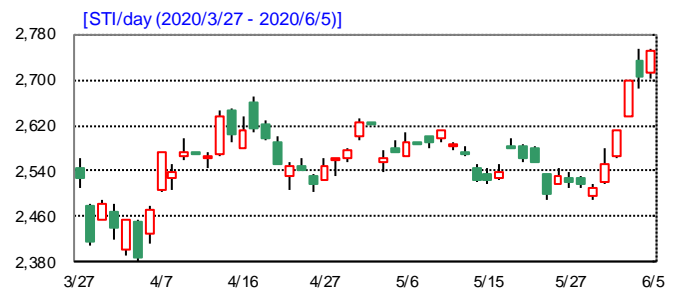


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 9.6%高、経済活動の制限緩和で大幅上昇

スレーツタイムズ指数は週間で 9.6%高と大幅続伸。米中の対立激化が懸念される中、週初から 5 日続伸し、上値を広げた。1 日は中国の 5 月の財新製造業 PMI が 50 ポイントを回復したことなどが好感され、指数は前営業日比 1.6%高と 4 日ぶりに反発。2 日は経済活動の制限が大幅に緩和された効果で前日比 2.4%上昇すると、3 日は引け際の買いが奏功し、終値で 2700 ポイントを超えた。5 日は 4 月の小売売上高が前年同月比 40.5%減と市場予想から大幅に下振れたものの影響は小さく、終値で 3 月 11 日以来の高値を更新して引けている。今週も経済の再開が順調に進めば、株式相場の追い風になりそうだ。

▼指数チャート

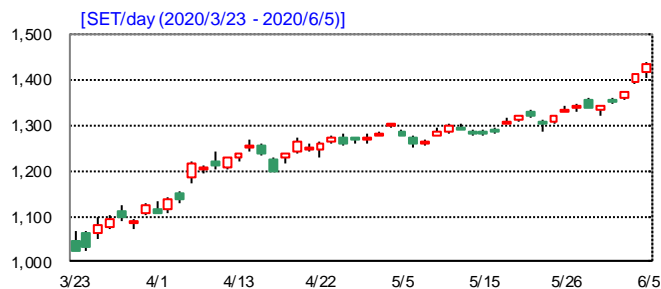


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 6.9%高、2 月以来の高値を更新

SET 指数は 4 日間の取引で 6.9%高と 4 週続伸。好地合いの中、週末まで 5 営業日続伸した。週初の 1 日は、夜間の外出禁止時間の短縮を含む第 3 弾の活動制限緩和が実施された効果で続伸。2 日に前日比 1.6%上昇すると、祝日を挟んだ 4 日は金融株が買われ、指数は終値でさらに 2.7%高と上値を広げて節目の 1400 ポイントを超えた。5 日は主要産油国で構成される「OPEC プラス」が協調減産を 7 月末まで延長する見通しとなり、原油価格が上昇したことを受けてエネルギー株が指数を押し上げ、終値で 2 月 25 日以来の高値を更新している。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因に左右される展開か。

▼指数チャート

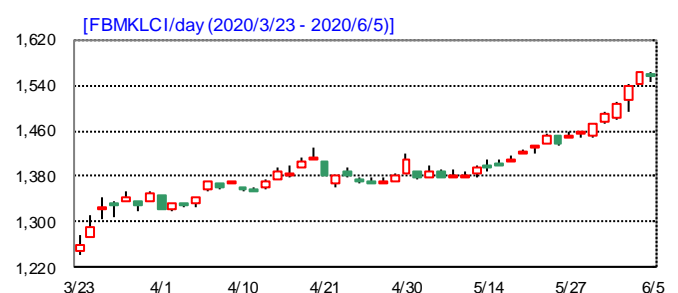


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 5.6%高、今週は 11 日に 4 月の鉱工業生産発表

クアラルンプール総合指数は週間で 5.6%高と 4 週続伸。週後半は終始 1500 ポイント台で推移した。週初の 1 日はゴム手袋メーカーが買われ、4 営業日続伸。その後も上値を追う展開が続く、4 日は 4 月の貿易収支が 1997 年のアジア通貨危機以来、初めて赤字に転落したものの影響は小さく、指数は終値で 1 月 24 日以来の高値を更新した。一方、5 日は政府が 6 月 15 日から年末まで自動車販売に関する税制優遇策を実施すると発表した効果で関連株が買われたが、利益確定売りが重しとなり、8 営業日ぶりに反落している。今週は 11 日に 4 月の鉱工業生産が発表される予定。8 日は国王誕生日の祝日で休場となる。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。